

十一月二十四日(土)に、帯山地域コミュニティセンターにて「高齢者の集い」が行われました。フオレスト熊本の音楽療法士 池田憲治氏を講師として招き、「音楽療法」を実施しました。



まず、『**えひめみかん**』と大きな声で言いながら、**ひ**と**か**の箇所は手を叩き、歌詞に合わせて振り付けをし、ペットボトルを叩いたり振ったりしました。  
このように「聞く」「見る」「体を動かす」「動きを真似る」など、一度に2つや3つの事を同時にするのは意外と難しく、脳の色々な部分が働き、脳のリハビリにもなるそうです。

音楽に合わせて皆で一緒に体を動かすことで、会場には一体感があり、笑顔がこぼれていました。最後は、池田氏のトランペット演奏による「北の国から」で、しつとりとした雰囲気を集いを締め上げて頂きました。  
皆さんから「楽しかった」のお言葉をたくさん頂いた一日でした。



▲プロも顔負け(?)の演奏!

第1弾

わが校区自慢

〜美味しいもの編〜

今回、「わが校区自慢」と題しまして、ささえりあ帯山が担当させて頂いている地域の、事業所(お店)のご紹介をさせて頂きます。

第一回目は、帯山四丁目にあります創業四〇年の「**江戸新**」さんです。帯山校区の各種団体さんの御用達!という事で、「ささえりあ帯山」より**いしん坊三人組**(あえて名前

は伏せさせて頂いて下さい...笑)がランチに行ってきました。

お話を伺ったところ、お客様の大半は地域の方だそうで、カラオケ好きな地域の方々が愛好会を結成し、月に一度、集まりを開催され、各々自慢のものを披露されるそうです。ランチのお寿司もとても美味しく、**お腹も満腹になり幸せなひと時**でした。今後も託麻原、帯山、帯山西校区のいろいろな情報を教えて頂き、ご紹介できればと思っております。



星3つです★★★

★編集後記★

新年明けましておめでとうございます。

昨年は熊本市が政令指定都市となり、私たち地域包括支援センターの通称も『やすらぎの森』から『ささえりあ帯山』となりました。また、新しく帯山校区も担当させて頂くこととなり、スタッフ一同、新しい出会いに感謝しております。

今年も託麻原・帯山・帯山西の三校区の皆様と、住み慣れた地域で「安心して生活できる地域づくり」に取り組んでまいりたいと思っておりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

森 綾子



# 笑顔

熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山

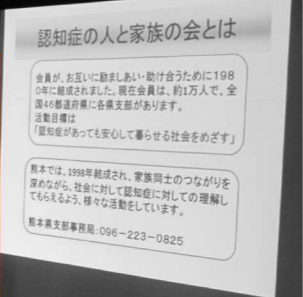
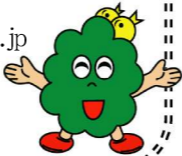
熊本市中央区保田窪1丁目 1-33 第2大田ビル1階

第22号

電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232

E-mail:sasaeriaobiyama@kyouninkai.jp

平成25年1月 http://www.kyouninkai.jp/obiyama/



謹賀新年

皆さま、明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、昨年の四月に保田窪一丁目に開設しました「ささえりあ帯山」も新しい年を迎えることが出来ました。昨年を振り返りますと託麻原校区では認知症地域支援フォーラム、帯山西校区では帯山西小学校キッズサポート養成講座、そして、新しく担当させて頂きました帯山校区ではふれあい給食会や各老人会にご案内いただきました。私どもの広報をさせて頂いたいただき無事にスタートすることが出来ました。職員一同深く感謝申し上げます。

今年も、地域の皆さま方のご支援を頂きまして、職員一同頑張りたいと思います。ご指導ご鞭撻を宜しくお願ひ申し上げます。



# 中央6圏域における「認知症」に対する取組み ②

## 認知症を知る

今年度、ささえりあ帯山では、認知症事例検討会やソーシャルワーク研修会、認知症支援フォーラムをシリーズで企画しております。

### ●第1回 「認知症事例検討会」

平成24年9月25日  
熊本学園大学 14号館にて、熊本学園大学社会福祉学部の黒木邦弘先生に「認知症の妻を抱えた高齢夫婦の危機的対応の事例」をテーマとし、地域の方々や、ささえりあ帯山圏域の居宅介護支援事業所向けに研修会をして頂きました。認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを各々の立場で考える大変良い機会となりました。

### ●第2回 「ソーシャルワーク研修—地域包括ケアとソーシャルワーク理論」

平成24年10月30日  
第2回は、困難事例を通しての地域包括

ケアシステムの活用法をテーマに、黒木先生より講話をして頂きました。圏域の専門職・行政職員にとって、日頃の業務を振り返る絶好の機会となりました。

### ●第4回 「ソーシャルワーク研修—実践事例検討/ふれあい・いきいきサロンの可能性」

平成24年12月10日  
第4回は、実践の事例を検討し、実践の振り返りを行いました。自分達が実際に担当しているケースを改めて捉えてみて、誰の立場で考え、何が大切なのかを見つめる機会となりました。



▲第1回の様子



▲第2回の様子



▲第4回の様子

平成24年11月24日

『第2回 託麻原校区認知症支援フォーラム』が熊本学園大学で開催されました。第1部は、公益社団法人認知症の人と家族の会熊本県支部より米満淑恵氏を講師としてお招きし「認知症の人のご家族支援～作ろう、支え合いのネットワーク～」をテーマにお話をして頂きました。他、ひまわり保育園園児によるエイサーや、託麻原



校区“民協劇団”による寸劇の披露がありました。第2部は「託麻原校区での認知症の人と家族の医療・介護・地域支援を考える」をテーマにパネルディスカッションが行われ、地域の最前線で、認知症の方やそのご家族と関わっている福祉推進委員さんの取組みや、地域包括支援センターとしての関わり、専門医としてのご意見や、認知症通所介護の事業所としての支援の現状を、それぞれの立場からお話して頂きました。熊本市社会福祉協議会からは託麻原校区の歴史や高齢者数など、現状の課題などについての情報提供もありました。フォーラム後の参加者のアンケートでは、「大変満足した」とのご意見を多数頂戴すると同時に、認知症支援への関心の高さを実感することが出来ました。

## 認知症介護家族を支える

### 「託麻原校区 家族介護者ボランティア研修」

12月13日 フォレスト熊本にて、家族の会（家族のつどい）の立ち上げにあたり、ボランティア研修を開催しました。約25名の参加があり、初めに、託麻原校区社会福祉協議会会長 濱氏より挨拶を頂きました。次に、認知症の人と家族の会・相談員の村田氏より、介護の体験談や、認知症の人に対する対応の仕方や周囲に期待することなど、熱く語って頂きました。認知症の人やその家族への支援の必要性を共感するとともに、今後の活動に繋げていくための手段や、進め方を検討しました。



## 認知症を知る

### 認知症キッズサポーター養成講座 in 帯山西小学校

10月26日に、帯山西小学校の6年生を対象に、認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。認知症地域支援推進員の牛島氏の講話の後、「何度も同じことを聞いてくるおばあさんに対して、何と答えるか？」をテーマにグループワークを行いました。その後、実際におばあちゃん役の民生委員でもある磯邊氏に声をかけて発表しました。帯山西小学校の生徒さんはとても元気で、活気のある楽しい講座を行う事ができました。



▲みんなで..はい！チーズ！！

## 認知症を見守る

11月1日に「宅配クック ワン・ツー・スリー 熊本中央店」で認知症サポーター養成講座を開催しました。

今回宅配クック ワン・ツー・スリーの職員さんより依頼がありまして、競輪場通りの商店で初めて開催することができました。認知症の人への対応の仕方や、症状などをお話させて頂きましたが、スタッフの方々は真剣に受講して下さいました。（受講後、スタッフの方が徘徊をされている認知症の方を発見され、警察へ通報し無事に保護されたとの事です。）今後も、出来れば競輪場通りの商店街で養成講座を開催させて頂き、たくさんのお店が認知症サポーター（の事業所）になって頂ければと思います。



## お知らせ



託麻原校区  
認知症支援ネットワーク活動紹介

●見守り応援隊模擬訓練を、  
三月三日（日）午前中に  
託麻原小学校体育館にて  
予定しています。

託麻原校区の皆さんはもとより、他の校区や、事業所からの参加も大歓迎です。前回より一段進んだ模擬訓練になるよう、事務局としても取り組んで行きたいと思っております。